



職員が模型を使いダム事業を説明してくれる

大阪府北部を流れる安威川に無駄ダム建設計画が着々と進められている。そんなダム事業を広報するために建てられた安威川ダム情報交流センターは、茨木駅からバス

で30分以上かかる野山に囲まれた閑静な住宅地の中にある。訪問者は月に50人ほど、建設関係者や散歩ついでに見学に立ち寄る方が多いそうだ。館内では古いビデオ数本

と参考図書、巨大な模型でダムについて学ぶことができ、職員が解説をしてくれる。安威川流域は、古くから洪水に悩まされる地域であり、堤防築堤等の対策がとられて

いた。しかし昭和42年に、集中豪雨で安威川が決壊し多くの家屋が浸水したことから、ダム建設計画が持ち上がった。計画当初は治水ダムとして

始まったが、流域に多くの住宅造営が進み人口密集地域となったことから、淀川に依存しない水源確保が謳われ多目的ダムとして事業拡大され

歯科パノラマフィルムの簡易デジタル化①

西川 眞二 (東大阪市)



113

歯科医院でのIT化としてデジタルレントゲンが普及しつつあり、パノラマに関してはおよそ30%の普及率になると聞いている。しかし、デジタルパノラマを導入する前に撮影されたパノラマ写真は各医院に蓄積された非デジタルデータであり、デジタル化されたシステムにおいて活用され難いのが実情である。

デジタル画像システムは基本的にパソコンで操作される。画像はデータベース化され、パノラマ画像だけでなくデンタルの画像や口腔内写真(デ

ジカメ画像)が患者ごとに保存されている。そこに過去のレントゲンフィルムをデジタル画像化してデータとして加えれば、経年的変化を容易に把握することが可能となる。

そこでレントゲンフィルムのデジタル画像化だが、いたって簡単な方法として、シャカステン上にフィルムを設置してデジタルカメラで撮影することが挙げられる。しかし明暗ムラのことを考慮すれば、光源付フラットベッド型スキャナを選択するのが良いだろう。

今回、4万円前後で市販されているキャンソナ製汎用スキャナ「Canoscan 950 F」を用いて、パノラマレントゲンフィルムを簡単にデジタルデータ化する手順を説明していく。使用するソフトはスキャナに同梱されているArcSoft PhotoStudioが便利である。スキャナでパノラマフィルムを読み込む際に、初めに設定が必要だが、一度設定しておけばあとは簡単な操作でアナログデータをデジタル化することができる。今回は具体的な設定のポイントを解説したいと思う。(なお、現在市販されている機種は後継機である「Canoscan 850 F」であることをお断りしておく)。

枚方で幼児歯科健診 悩み抱える母へ助言

北河内地区



子どもに歯みがきの実演をする有地氏=12月6日、枚方市内

協会の北河内地区は12月6日、枚方市民会館で幼児歯科健診を開いた。有地正氏(北河内地区責

任者)が出務し、子ども10人、大人5人が受診をした。若い母親にとって子どもの歯の健康状態は大きな心配事の一つ。「歯みがきを極端に嫌がる。何かいい方法はないですか」との質問に、有地氏は「お母さんが子どもの後ろに回って、指にガリゼを巻いて歯

る。まずは歯に物が触る感覚に慣れさせることから始めれば」と、その場で実演をした。母親は「ゴシゴシ磨かないといけないと思っ

ていましたから、安心してました」と安堵の表情を見せた。他の保護者たちからも、子どもの歯並びや口臭などの質問が出され、有地氏は口腔内の絵を描いて分かりやすく説明した。

北河内地区では、婦人団体からの要請で、若い母親たちの子育てサークルへの歯科健診を毎年開催している。親にとって、子どもの歯の悩みが少しでも解消されれば、子育ては一層楽しくなる。来年も同健診を開催することが決まっている。

安威川ダム

税金注ぎ 自然を破壊

無駄ダムに総額1370億円

計画発表から現在まで30年経過しているが、未だに着されていないダム本体は10年以内の完成を計画しており、「ダムが完成したあとも水質調査や周辺調査などを行

な。ダム建設が必要と

思われない」という声が出ている。ダム周辺には活断層があり、直下型地震で被害を受ける懸念もある。10

年に一度の大洪水の救済策として、80年近くの歳月と数千億円の公金を注ぎ込み、自然を破壊する。節水の普及で水需要

の向上に力を注ぐ知事

を選挙する必要はある。

(事務局・西野賢治)

おおざかウォッチング

191

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

堺・高石・和泉地区講習会
「診療報酬改定と個別指導の最新情報」
日時 1月12日(土)午後7時〜8時30分
会場 サンスクエア堺(JR阪和線「堺」駅から徒歩3分)
講師 協会社保研究部・政策部講師団 定員 50人
会費 会員無料、未入会者1万円

医科・歯科共催 既存医療法人対象
「一人医療法人定款変更のポイント」
日時 1月19日(土)午後2時30分〜4時
会場 保険医会館
講師 和泉節夫氏(協会顧問税理士団)
会費 会員院所医療法人 無料
※現状の医療法人定款をご持参ください。

チェアサイド実習講座
「アシスタントのためのバキュームテクニック」
日時 1月19日(土)午後3時〜6時
会場 とみもと歯科(大阪市港区 地下鉄中央線「朝潮橋」駅から徒歩10分)
講師 富本昌之氏(臨床・学術学会部員)
会費 会員院所スタッフ3千円 定員15人(先着順)
※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申し込みください

1月度生涯研修
「食医のススメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療」
日時 1月20日(日)午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 野原幹司氏(大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部助教) 定員 100人
会費 会員3千円、未入会者1万円
※生涯研修カードをご持参ください

開業医対象
「新規開業医講習会」
日時 2月3日(日)午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
定員 100人
※持参物は、『経営展望』「カルテ記載を中心とした指導テキスト」
会費 会員無料

「スケーリングシャワーブッシングセミナー」
日時 2月3日(日)午前10時〜午後1時
会場 保険医会館
講師 福池久恵氏(臨床・学術学会部員)
会費 会員院所歯科衛生士5千円 定員 30人(先着順)
※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申し込みください

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣意をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。